

令和 7 年度

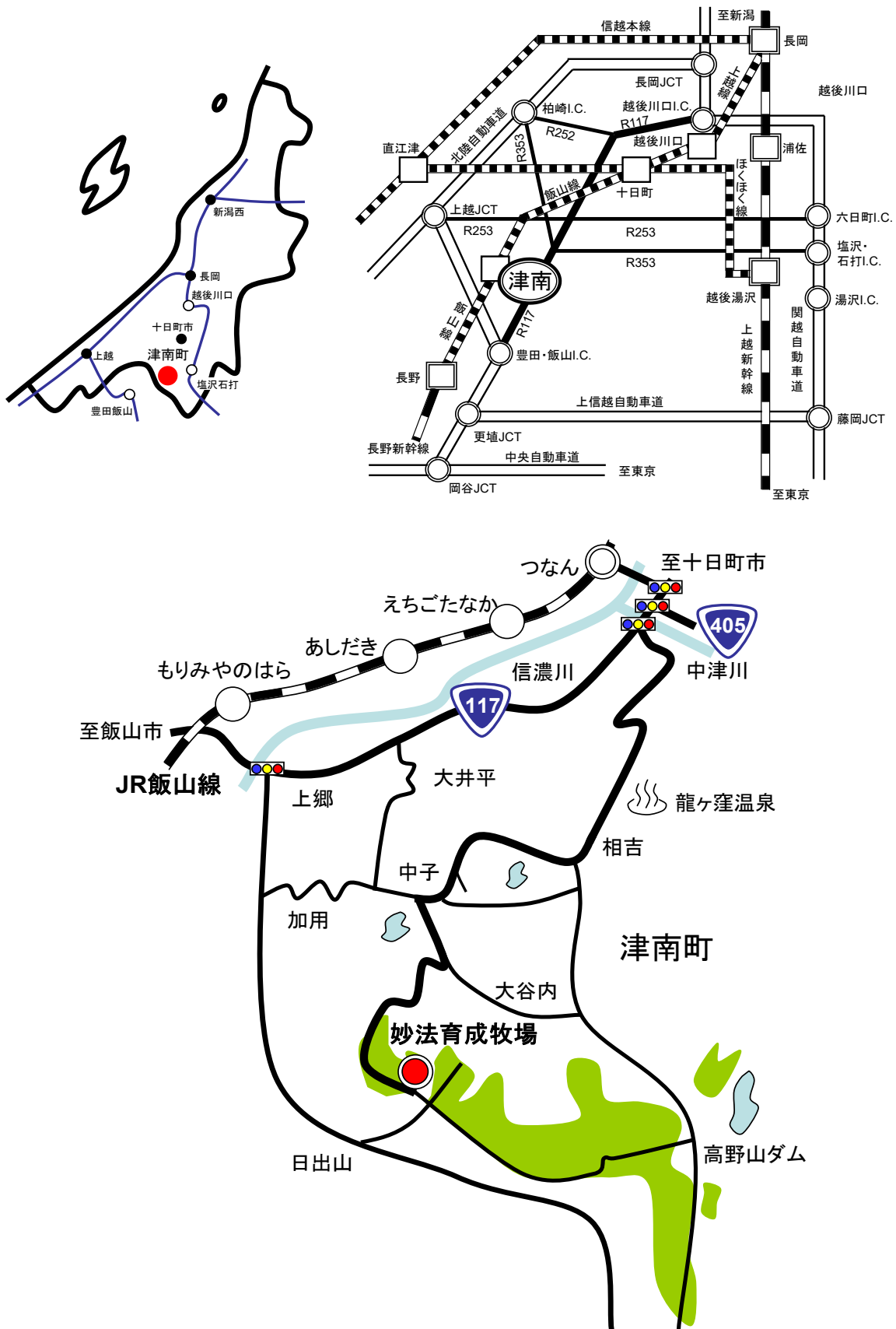
業 務 年 報

新潟県妙法育成牧場

目 次

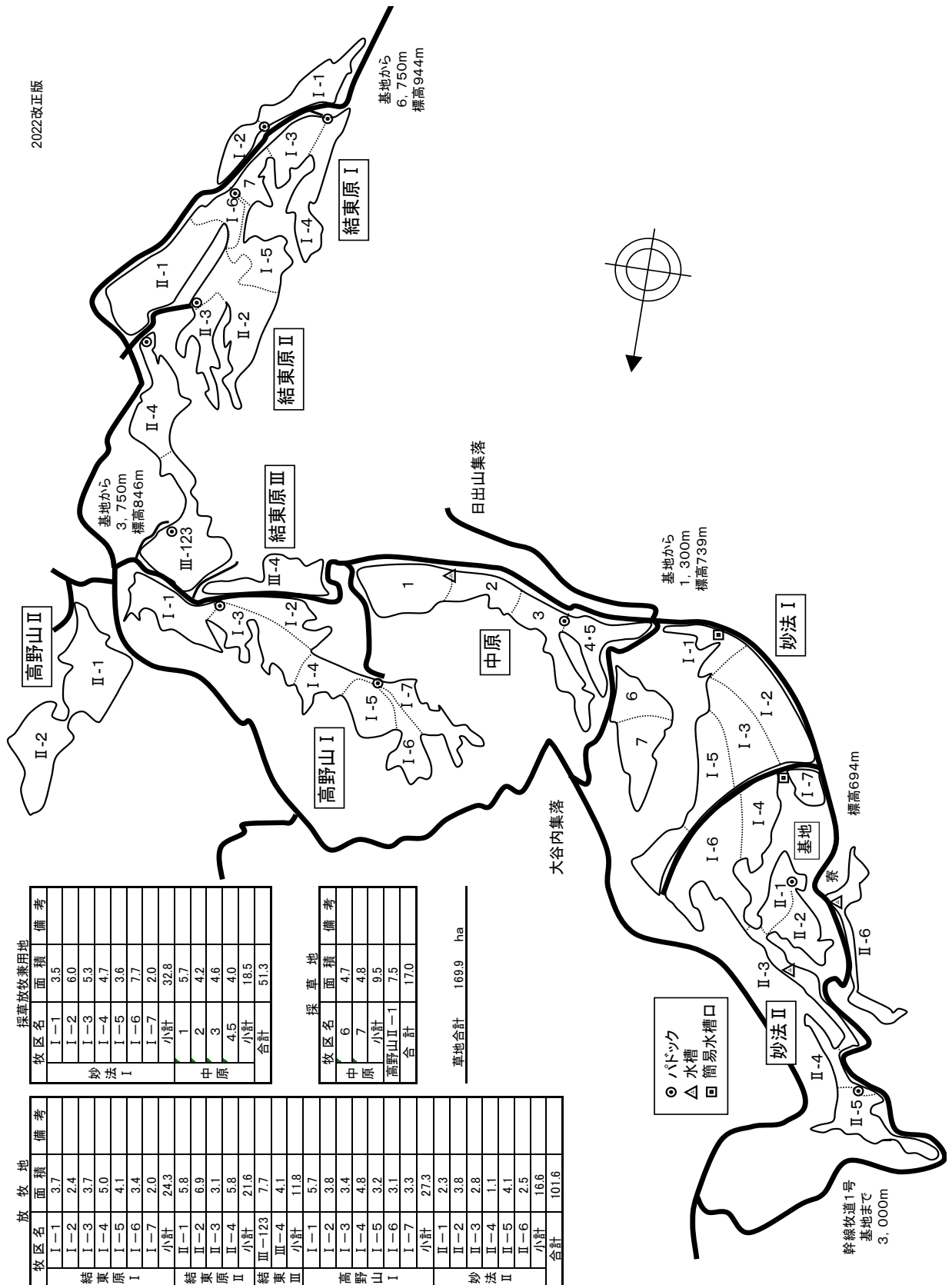
位 置 図	1
牧場略図	2
牧場基地内建物配置図	3
総 説	
1 沿 革	4
2 位置及び交通	4
3 地 勢	4
4 気 象	4
5 機 構	5
6 用 地	5
7 施設機械	6
業 務	
1 業 務 の 概 要	9
2 受託・返還実績	10
3 家畜飼養管理成績	12
4 家畜人工授精及び受精卵移植成績	16
5 家畜衛生関係成績	18
6 草地利用管理成績	19
7 気 象	24
8 牧場研修の受入等	25

位置図



牧 場 略 図

2022改正版



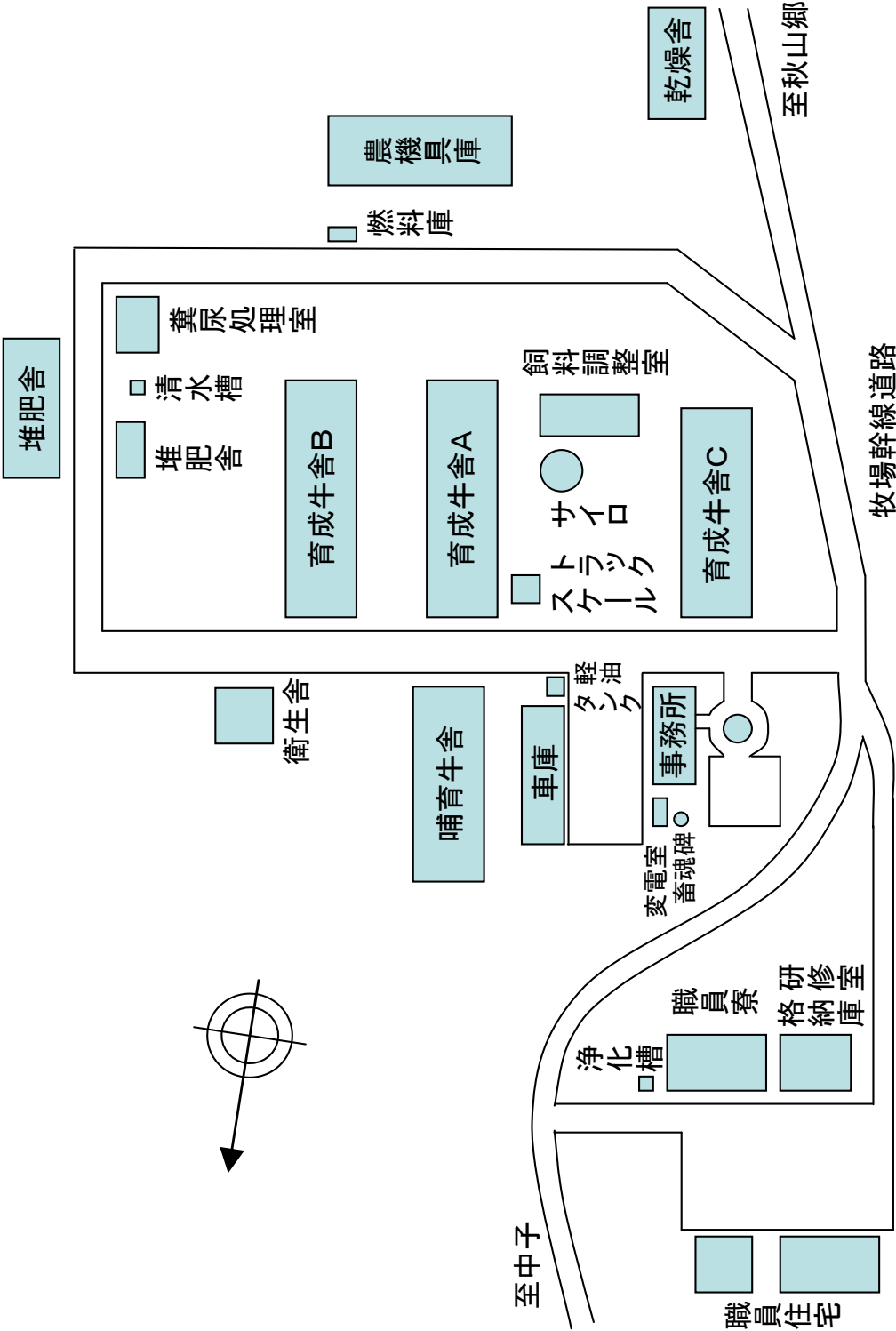
採草放牧兼用地			
牧区名	面積	備考	
妙法 I	I-1 3.5		
	I-2 6.0		
	I-3 5.3		
	I-4 4.7		
	I-5 3.6		
	I-6 7.7		
	I-7 2.0		
小計	32.8		
中原	II-1 5.7		
	II-2 4.2		
	II-3 4.6		
	II-4 4.0		
小計	18.5		
合計	51.3		

採草地			
牧区名	面積	備考	
中原	I-6 4.7		
	I-7 4.8		
小計	9.5		
高野山 I	I-1 7.5		
合計	17.0		

草地合計 169.9 ha

放牧地			
牧区名	面積	備考	
結東原 I	I-1 3.7		
	I-2 2.4		
	I-3 3.7		
	I-4 5.0		
	I-5 4.1		
	I-6 3.4		
	I-7 2.0		
小計	24.3		
結東原 II	II-1 5.8		
	II-2 6.9		
	II-3 3.1		
	II-4 5.8		
小計	21.6		
結東原 III	III-123 7.7		
小計	11.8		
高野山 I	I-1 5.7		
	I-2 3.8		
	I-3 3.4		
	I-4 4.8		
	I-5 3.2		
	I-6 3.1		
	I-7 3.3		
小計	27.3		
妙法 I	II-1 2.3		
	II-2 3.8		
	II-3 2.8		
	II-4 1.1		
	II-5 4.1		
	II-6 2.5		
小計	16.6		
合計	101.6		

牧場基地内建物配置図



総 説

1 沿 革

- (1) 昭和43年度に県営乳牛育成牧場建設のため、中魚沼郡津南町妙法地区において、県単独で適地調査を実施した。
- (2) 昭和44年度に農林省北陸農政局が妙法地区共同利用模範牧場設置事業調査を実施、上記調査結果と併せて牧場設置計画書を作成した。
- (3) 昭和45年度事業実施地区として承認され、45～47年度にわたり農地開発機械公団が牧場を建設した。
- (4) 昭和46年4月新潟県妙法育成牧場事務所が設置され、引渡しを受けた草地、施設等の管理に当たった。
- (5) 昭和46年10月県条例が制定され、新潟県妙法育成牧場が発足した。
- (6) 昭和47年10月牧場建設事業が完了した。
- (7) 昭和48年4月機構改革が行われ、庶務課、業務課が設置された。
- (8) 昭和53年～57年度にわたり、草地管理の効率化を主目的に公共育成牧場整備事業を実施した。
- (9) 平成5年度に条例改正され、買取育成方式から預託方式に機能変更した。
- (10) 平成5年～7年度にわたり、施設及び草地基盤整備を目的に公共育成牧場整備事業を実施した。
- (11) 平成6年4月機構改革が行われ、庶務課、業務課が廃止された。
- (12) 平成11年9月預託者による互助制度が発足した。
- (13) 平成26年度条例改正により、預託月齢の引下げと預託料金の支払方法を変更した。

2 位置及び交通

(1) 位置

〒949-8125

新潟県中魚沼郡津南町大字上郷宮野原7329番地

電話 025(766)2638 FAX 025(766)2027

(2) 交通

JR飯山線津南駅から中子入口まで路線バス利用(所要時間30分)。

中子入口から徒歩50分。

3 地 勢

この地域は苗場山(標高2,145m)の北面にあり、中津川沿いに展開する河岸段丘で、なだらかな起伏をもって帯状に広がっている。当場の標高は630m～950mの範囲にあり、地質は第4紀洪積層、からなり、土性は埴土又は埴壤土で一部火山灰土を含む。

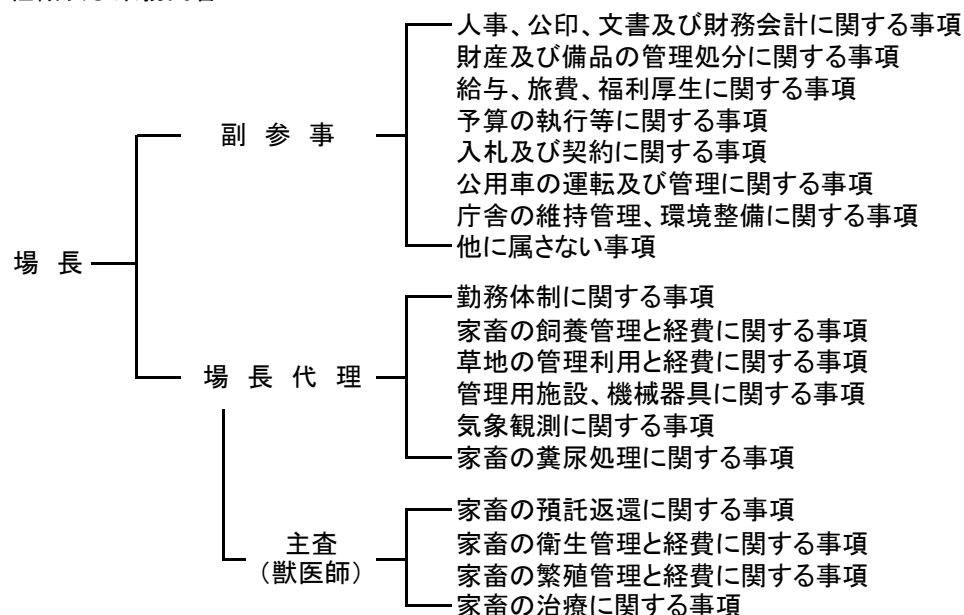
4 気 象

年間降水量は2,012mm、年間平均気温は12.0℃、5月～10月の平均気温20.5℃と農業気象的には高冷地に属している。6～7月は降水量も多く、夏枯れ現象も起こらないなど牧草の生育には適しているが、11月には降雪があり、早い年で11月上旬から根雪となる。

根雪期間は5か月以上続き、積雪が4mを超えることもある豪雪地帯である。

5 機 構

(1)組織及び業務内容



(2)職員名簿

令和7年4月1日現在(※5月1日採用)

職 名	氏 名
場 長	宮腰 雄一
場長代理・副 参 事・主査	小川 泰 滝沢 哲也 山家 崇
技 術 員	金子 泰司 桑原 洋貴 太島 渉 星野 優樹 西川 孝一※

(3)職員の異動

職 名	氏 名	異 動 事 由
場長	島津 是之	令和7年3月31日転出 畜産研究センターへ
場長	宮腰 雄一	令和7年4月1日転入 畜産研究センターから
技術員	西川 孝一	令和7年5月1日採用

6 用 地

(単位:ha)

総面積	草 地 (実利用地)			基 地	樹林 その他	道 路 (m)
	採草地	放牧地	計			
346.1	68.3	101.6	169.9	5.0	171.2	6,628

注)全面積借地である。

7 施設機械

(1) 建物

令和7年3月31日現在

名 称	面積(㎡)	摘 要
事務所	148.73	コンクリートブロック造平屋建、長尺カラー鉄板瓦葺
職員住宅(3戸建)	延 164.77	木造2階建、長尺カラー鉄板瓦葺、1階コンクリートブロック、2階木造
職員住宅(2戸建)	延 104.06	木造2階建、長尺カラー鉄板瓦葺、1階コンクリートブロック、2階木造
職員寮	延 317.04	木造一部2階建、長尺カラー鉄板瓦葺
車庫	134.79	鉄骨造平屋建、長尺カラートタン瓦葺
哺育牛舎	延 640.78	鉄骨造2階建、長尺カラー鉄板瓦葺
育成牛舎A	延 1311.10	鉄骨造2階建、長尺カラー鉄板瓦葺
育成牛舎B	延 1415.30	鉄骨造2階建、長尺カラー鉄板瓦葺
育成牛舎C	延 1190.10	鉄骨造2階建、長尺カラー鉄板瓦葺
農機具庫	339.99	鉄骨造平屋建、長尺カラー鉄板瓦葺
衛生舎	91.02	鉄骨造平屋建、長尺カラー鉄板瓦葺
燃料庫	15.00	コンクリートブロック造平屋建、折版ルーフデッキ葺
汚物焼却室	13.80	コンクリートブロック造平屋建、長尺カラー鉄板瓦葺
ふん尿処理室	83.50	鉄骨造平屋建、長尺カラー鉄板瓦葺
堆肥舎	176.01	鉄骨造平屋建、長尺カラー鉄板瓦葺
堆肥舎	429.75	鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造、長尺カラー鉄板葺
乾燥舎	133.78	鉄骨造平屋建、長尺カラー鉄板瓦葺
飼料調整室	152.10	鉄骨造平屋建、長尺カラー鉄板瓦葺
変電室	30.39	コンクリートブロック造平屋建、折版ルーフデッキ葺
格納庫・研修室	243.20	鉄骨造2階建、長尺カラー鉄板瓦葺、1階格納庫、2階研修室

(2) 管理用機械

令和8年3月31日現在

機 種	規 格	取得年月日	数量	取得価格	備 考
トラクター 99PS 11号機	ニューホランド T5.100EC	R 3. 12. 10	1	7,445,900	
" 88PS 2号機	ヤンマー YT488AUQR8	R 4. 7. 27	1	6,769,400	
" 90PS 3号機	ニューホランド T5.90CAB(フロントローダー付)	R 5. 10. 26	1	8,976,000	
" 76PS 4号機	ニューホランド T4030	H 23. 8. 25	1	5,082,000	
" 60PS 5号機	フォート TN65S 4WD CAB	H 12. 6. 5	1	3,501,000	
" 100PS 6号機	フォート 8160DTC	H 9. 5. 28	1	6,606,000	
" 74PS 7号機	イセキ TJX743WD	H 30. 11. 21	1	4,687,200	
ダンプトレーラー	スター HD9W	H 8. 9. 20	1	927,000	
フォーレージハーベスター	JF FCT900	H 11. 9. 29	1	2,571,030	
モアコンディショナー	JF GMS 2800TS	H 17. 6. 9	1	1,985,000	
"	KUHN FC3160TCD	R 1. 8. 23	1	3,553,200	
ジャイロテッター	KUHN GF5001MH	H 18. 6. 13	1	703,000	
"	KUHN GF5902MH	R 2. 3. 27	1	1,179,200	
レーキ	ニューホランド NH570	S 51. 9. 20	1	799,000	
"	クーン ジャイロレーキ GA7302DL	H 16. 8. 30	1	2,604,000	
ボトムアンローダー	25フィートサイロヘイレーザ用	H 18. 3. 27	1	6,436,500	
ホイールステアローダー	TCMSキットステアローダー 610型	H 15. 9. 30	1	4,042,500	
"	マイスターローダー-L218	R 2. 3. 26	1	4,719,000	
"	キャタピラージャパン226D3-DX	R 7. 2. 27	1	6,512,000	
フォークリフト	ユニキャリアFD20T15 回転ロールクランプ付	H 28. 3. 10	1	2,840,400	
マニュアルプレッダー	IHIスター TMS9000M	H 26. 8. 28	1	2,073,600	
ブロードキャスター	ビコン ROM1550	R 2. 3. 17	1	1,364,000	
トリチュレーター	パブリ BNU195	H 20. 5. 30	1	980,000	
オフセットシュレッダー	SUPERMASTER160	H 30. 8. 30	1	1,069,200	

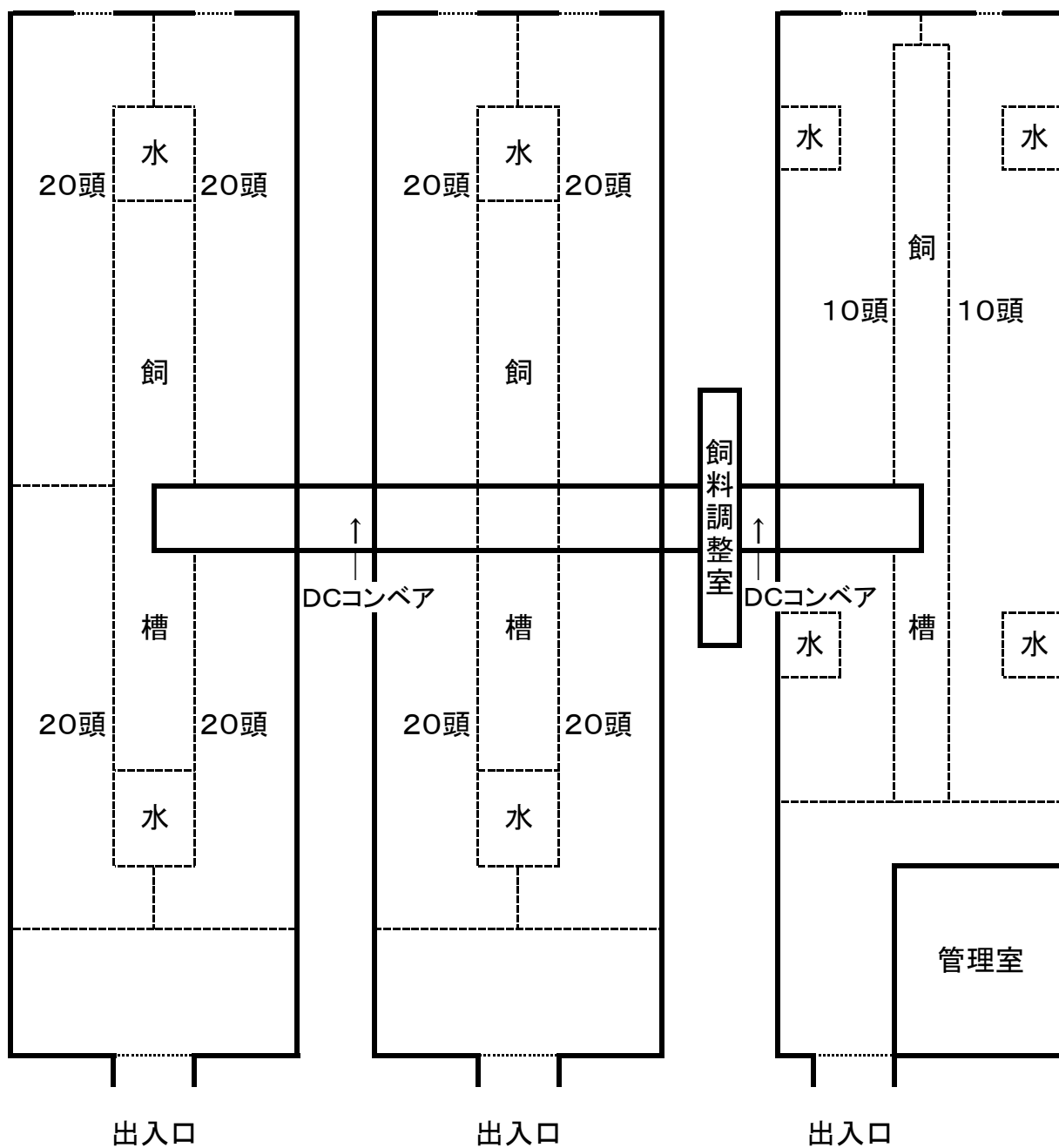
機 種	規 格	取得年月日	数量	取得価格	備 考
ボトムプラウ	リバーシブルプラウ R162S190	H 7. 6. 30	1	830,000	十日町総合高校から
ツースハロー(スパイク)	スター MLH303A	S 61. 9. 1	1	200,000	
"	スター MLH303	H 16. 12. 17	1	203,000	
デスクハロー(カローラ付)	東洋農機 THO2226N	H 30. 3. 13	1	1,174,526	
ローラー	スター TKR2510	S 61. 9. 1	1	700,000	
ロールベアラー	フェアホリ EX220HTC	H 25. 5. 31	1	3,643,500	
"	効キタVC1311NB	R 6. 6. 13	1	5,931,200	
ベールグラブ	TCMステアローダー用	H 15. 9. 30	1	525,000	
"	SBG12M	R 2. 6. 29	1	529,100	
ラッピングマシーン	スター MWM1250W	H 26. 10. 8	1	1,695,384	
"	スター MWM1252W	R 7 7 17	1	2,150,500	畜産研究センターから
ロールベールカッター	IHIアグリテックFRBC-121MS1	R 6. 12. 29	1	2,778,600	
バキュームカー	STAR TVC2530	R 7. 3. 31	1	1,320,000	
電気溶接機	ダイハツBS-250M	H 28. 2. 29	1	102,060	
エンジン溶接機	新ダイワ EW130	H 18. 3. 28	1	144,900	
ガレージジャッキ	ナカサキ NS10-3 3t用	S 54. 10. 4	1	55,000	
コンプレッサー	1.5P-9.5VD5	H 23. 9. 20	1	172,200	
草刈機	ロビン NB262AU	H 7. 10 31	1	61,903	
"	ロビン NB3060HAU	H 20. 3. 20	1	62,738	
飼料攪拌機	オオタキ式	S 51. 10. 28	1	104,000	
噴霧器	丸山セット動噴 MS154EA	H 15. 7. 11	1	134,190	十日町土木から
"	丸山セット動噴 MS335EA	H 28. 10. 31	1	135,000	
"	ブームスプレーヤー NK800-12MB-X	H 21. 12. 15	1	840,000	
ブルドーザー	キャタピラ三菱 D6C41A型 土工板付	S 54. 12. 4	1	7,490,000	
ロータリー除雪車	NR655 300PS	H 14. 10. 23	1	25,918,000	
スノーブロウ(除雪機)	効キタSB2991Uトラクター装着式	R 6. 2. 15	1	1,697,300	
ホイロローダー	キャタピラージャパン 950MZ	R 4. 3. 22	1	10,670,000	
"	キャタピラージャパン 930H	R 6. 7. 24	1	9,680,000	
電動ヘイカッター	TF2000	H 14. 3. 14	1	236,000	
チェンソー	チェンソースチールMS230CBE	H 19. 3. 6	1	72,000	十日町土木から
パレットフォーク	ステアローダー610用	H 16. 3. 10	1	231,000	
スノーブロウ	タカキタ SB2991U	R 6. 2. 15	1	1,697,300	
牛衡機	FHK 800kg	H 6. 3. 9	1	309,000	
"	FHK 800kg	H 6. 5. 23	1	309,000	
"	SP1600/B26	H 29. 7. 26	1	734,400	
"	FKH TRU-TEST	R 4. 9. 1	1	484,000	
トラック	いすゞエルフ3tTRG-NKR85R	H 31. 3. 29	1	4,326,000	
ダンプトラック	いすゞフォワード4t	R 2. 3. 30	1	6,975,560	
バイク	ホンダ XR230	H 19. 10. 4	1	428,400	十日町土木から
"	カワサキ KLX125	H 27. 3. 31	1	350,130	
"	ホンダ スーパーカブJBH-AA04	H 29. 5. 23	1	191,480	
"	ホンダ クロスカブ110	R 4. 10. 31	1	228,970	
"	ホンダ クロスカブ50	R 6 5 8	1	325,182	
放牧看視用自動車	ニッサン NV350キャラバン	H 29. 7. 5	1	2,111,171	
"	トヨタハイラックスGUN-DTTSH 2,400cc	R 1. 11. 25	1	2,727,878	
動力運搬車	ライガーGX-14A	S 62. 5. 1	1	425,000	
雪上車	大原SM20D	S 55. 11. 18	1	6,400,000	
スノーモービル	ヤマハ VK540V	R 5. 11. 30	1	1,100,000	十日町土木から
超音波画像装置	富士平工業HS-103V	R 6. 1. 11	1	1,034,000	
スチームクリーナー	有光工業AHC-37HC5	H 18. 3. 28	1	533,400	
"	SF 900M	H 5. 10. 27	1	315,000	
温水高圧洗浄機	HDS8/15C	H 30. 1. 16	1	881,734	
発電機	ヤマハ EF500S	H 5. 10. 15	1	84,975	
"	スバル SG27	H 17. 3. 10	1	124,425	
"	新ダイワ IEG2501	R 7 6 13	1	130,000	
簡易業務用無線機	STANDARD VXD4500V	H 31. 3. 27	10	615,600	
携帯型簡易無線機	STANDARD VXD450V	R 3. 3. 4	3	141,900	

(3)牛舎平面図(収容適正頭数)

育成牛舎B(80)

育成牛舎A(80)

育成牛舎C(20)



業 務

1 業務の概要

平成5年度の牧場機能の変更に際、預託方式により乳用牛の育成を行っている。

平成23～24年度は、牧草から放射性セシウムが検出されたため、預託牛の受入を一時中止したが、その後すべての牧区で牧草の安全性が確認されたため、平成25年4月からは全面的に預託牛の受入れを再開した。

県内酪農家から乳用育成雌牛を受託し、乳牛の改良増殖を図るため優良精液による人工授精及び 高能力牛の受精卵移植を実施した。

【受託条件】

- 対象牛 乳用牛の雌で生後おおむね6か月齢以上であること
 衛生検査を受けた健康で発育良好な牛であること
- 預託期間 原則18か月以内
- 預託料 1頭1日 650円
- 受胎料 人工授精 5,500円
 受精卵移植 13,000円

【家畜管理】

預託牛は、新潟県酪農業協同組合連合会を通じ県内11市町、19戸から141頭を4月・6月・7月9月・10月・11月の6回に分けて受託した。他に、県畜産研究センターから6頭を受託した。

放牧は前年より13日遅く6月5日に開始し、11月14日に終了した。放牧期間は163日であった。

受託牛は約1か月間の隔離期間後、体重と繁殖状況を考慮して群を編成し、その後、月1回の体重測定の結果を踏まえ、群編成を見直し、放牧期は3群、舎飼期では6～8群で管理した。放牧群は1群当たり5～7牧区を使用し、1牧区当たり平均滞牧日数は3.1日であった。

令和7年度の繁殖成績は、人工授精延べ受胎率50.6%（令和6年度48.7%）、受精卵移植延べ受胎率53.1%（令和6年度41.8%）と受精卵移植では前年を上回る成績であった。令和5年度から7年は移植を放牧地では実施せず全て牛舎内で実施した。

疾病関係は、乳房腫の被害が継続して見られた。

【草地管理】

牧草の年間収穫量は、ラップサイレージで450t（ロール数985個）であった。収穫作業は、一番草は5月25日～8月1日、二番草は9月17日～11月15日、三番草は11月6日に収穫した。一番草は消雪の遅れによる生育不良、また二番草は少雨と高温による夏枯れにより収穫量は前年に比べ17%減少した。

施肥については、肥料価格の高止まりの中にあるため、化学肥料は採草地、兼用地を優先して施用し、放牧地は堆肥のみ施用した。

放牧地は、採食性の向上を図るため、1回から2回の掃除刈りを行った。

また、ギンギン等の強害雑草対策として採草地及び放牧地計46.6haに除草剤を散布した。

2 受託・返還実績

(1) 受託

ア 受託実績及び飼養頭数

回次	受託計画頭数	受託頭数	返還頭数	飼養頭数
1次	30	22	21	167
2次	30	35	26	176
3次	20	12	15	173
4次	20	20	28	165
5次	30	26	22	169
6次	30	30	22	177
計	160	145	134	—

注1) R7.4.1現在の飼養頭数 166頭、畜産研究センター分含む。

イ 受託状況

市町数	戸数	1戸当たりの頭数
11	20	7.3

注) 戸数に畜産研究センター含む。

ウ 預託牛受入時の体格測定値

(単位: kg、cm)

	月 齢	体 重	体 高
平 均 値	9.2	264	121
標 準 偏 差	2.3	65.5	6.8
最 高 値	18.5	423	137
最 低 値	5.4	152	106

エ 受託頭数の年度別推移

区 分	一 般 牛	畜産研究センター牛
平成24年度	60	—
平成25年度	114	7
平成26年度	160	8
平成27年度	186	5
平成28年度	172	2
平成29年度	161	4
平成30年度	185	12
令和元年度	146	—
令和2年度	148	—
令和3年度	150	—
令和4年度	137	7
令和5年度	123	13
令和6年度	155	6
令和7年度	141	4

(2) 返還

ア 返還実績

返還月	頭数	備考
4月	21	第1次
5月	0	
6月	20	第2次
7月	11	第3次-1
8月	4	第3次-2
9月	28	第4次
10月	22	第5次
11月	22	第6次
12月	0	
1月	0	
2月	0	
3月	0	
計	128	

イ 返還状況

市町数	返還戸数
10	19

ウ 返還時発育成績(平均値)

月 齢	頭 数	月 齢	体 重 (kg)	日増体重 (g/日)
20か月齢未満	30	17.9	412.5	478
20～23か月齢未満	65	21.6	478.2	529
23～25か月齢未満	24	23.8	493.5	566
25か月齢以上	15	26.6	580.9	607
計・平均	134	21.8	477.7	531.0

注)途中返還牛除く

エ 返還牛繁殖状況

頭 数	受 胎		不 受 胎	死 亡
	人 工 授 精	受精卵移植		
129 (100%)	105 (81.4%)	20 (15.5%)	3 (2.3%)	1 (0.8%)

3 家畜飼養管理成績

(1) 家畜飼養技術体系

ア 放牧期

一 般 管 理		飼 料 給 与	
○ 放牧馴致	21日間	○ 生草	自由採食
○ 体測	月1回	○ 固形塩	自由舐食
衛 生			
○ 外部寄生虫駆除剤牛体塗布	3週間毎		
○ 牛異常産ワクチン接種	7月		
○ ピロプラズマ病検査	4月、11月全頭検査、8月抽出検査		

イ 舎飼期

一 般 管 理		飼 料 給 与	
○ 群飼育		○ 配合飼料	1.0～2.0kg/日・頭
・ 一群 20～25頭		○ 粗飼料	
・ 発育及び妊娠別群編成		・ ロールベールサイ	自由採食 7～16kg/日・頭
		・ レージ	
○ 体測 月1回		○ 固形塩	自由舐食
○ 削蹄及び副乳頭除去		○ 飼料添加物	各種ミネラル・ビタミン剤
○ 敷料 モミガラ交換 週1回			
衛 生			
○ 畜舎洗浄・消毒		○ 牛呼吸器病ワクチン接種	
○ 生菌剤投与（O-157対策）			

ウ 通年

繁 殖			
○ 発情観察及び授精等	1日2回	○ 受精卵移植（受精卵）	
○ 人工授精(AI)・受精卵移植(ET)の目安		畜産研究センターで作出した高能力牛受精卵等	
A I	E T	○ 人工授精（精液）	
・ 体重 350kg以上	360kg以上	家畜改良事業団等	
・ 体高 125cm以上	126cm以上	○ 妊娠鑑定	26～28日及び55日以降

(2) 畜舎別飼養延頭数

区別 年月	育成牛舎 A	育成牛舎 B	育成牛舎 C	放牧地	合 計
令和6年4月	2,607	1,861	559	—	5,027
5月	2,684	2,115	378	—	5,177
6月	1,903	316	894	2,170	5,283
7月	2,112	—	347	3,185	5,644
8月	1,944	—	220	3,243	5,407
9月	982	963	483	2,559	4,987
10月	1,032	820	584	2,787	5,223
11月	1,650	1,465	1,319	837	5,271
12月	1,953	1,798	1,736	—	5,487
7年1月	1,952	1,798	1,736	—	5,486
2月	1,809	1,682	1,613	—	5,104
3月	1,982	1,850	1,624	—	5,456
合 計	22,610	14,668	11,493	14,781	63,552

年間一日平均飼養頭数 **174.1 頭**

(3) 放牧実績

牧 区				利用回数 (延べ)	放牧日数 (延べ)	平均滞牧 日 数	放牧延頭数	
区分	名 称	牧区数	面積 (ha)				頭 数	ha当たり
放 牧 地	結束原Ⅰ	7	24.3	33	85	2.6	2,999	123
	結束原Ⅱ	2	11.6	18	45	2.5	1,435	124
	結束原Ⅲ	2	11.8	14	36	2.6	1,199	102
	高野山Ⅰ	7	27.3	56	148	2.6	5,393	198
	妙法Ⅱ	6	16.6	26	75	2.9	1,678	101
	小 計	24	91.6	147	389	2.6	12,704	139
採 草 兼 用 地	妙法Ⅰ	7	32.8	22	127	5.8	2,077	63
	中 原	0	0.0	0	0	0.0	0	0
	小 計	7	32.8	22	127	5.8	2,077	63
合 計		31	124.4	169	516	3.1	14,781	119

(4) 放牧牛増体成績

月 齢	頭数	入牧時 平均月齢	入牧時 体重 (kg)	退牧時 体重 (kg)	日増体重 (g/日)	平均 放牧期間 (日)
9か月未満	6	8.4	281.3	324.2	361.0	116.1
9か月以上 12か月未満	32	10.7	398.9	371.3	579.0	117.2
12か月以上 15か月未満	25	13.4	366.0	431.6	578.0	106.4
15か月以上 18か月未満	34	16.9	394.0	468.5	621.0	111.4
18か月以上 21か月未満	35	19.2	425.0	489.7	588.0	95.3
21か月以上 24か月未満	14	22.2	457.2	512.1	612.0	80.7
24か月以上	2	25.3	479.0	537.0	617.0	94.0
全 体	148	15.8	400.2	445.5	585.4	105.1

参考 放牧実績の推移

年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
放牧実頭数	65	141	187	239	174	158	220
入牧日	8月16日	5月22日	5月27日	5月22日	5月12日	6月5日	5月24日
退牧日	11月8日	11月8日	11月11日	11月6日	11月7日	11月12日	11月19日
放牧日数	84	170	168	168	179	161	180

年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
放牧実頭数	186	188	170	177	148	148	168
入牧日	6月5日	5月21日	5月27日	5月26日	5月18日	5月23日	6月5日
退牧日	11月14日	11月4日	11月11日	11月10日	11月9日	11月14日	11月14日
放牧日数	163	168	169	169	176	176	163

4 家畜人工授精及び受精卵移植成績

(1) 人工授精成績(通年)

(単位: 頭, %)

項 目 対象牛	人工授精 実頭数 (A)	人工授精 延頭数 (B)	受胎実頭数 受胎延頭 (C) (D)	妊否不 明頭数	受胎に要し た授精延回 数 (E)	実頭数受胎率 延頭数受胎 (C) / (A) (D) / (B)	受胎に要した 平均授精回数 (E) / (C)
令和7年度	134	247	118 125	0	212	88.1% 50.6%	1.8
令和6年度	127	234	109 114	0	201	85.8% 48.7%	1.8
令和5年度	124	193	105 108	0	163	84.7% 56.0%	1.6

受胎実頭数と延頭数の差は流産頭数

◎ 令和7年度授精回数別受胎成績

(単位: 頭, %)

区 分	1 回	2 回	3 回	4回以上	合 計
頭 数	66	30	14	8	118
構成比	55.9%	25.4%	11.9%	6.8%	

注) 流産等も回数に含む

(2) 受精卵移植成績(凍結胚、通年)

項 目	実頭数 (A)	延頭数 (B)	受胎実頭数 受胎延頭数 (C) (D)	実頭数受胎率 延頭数受胎率 (C) / (A) (D) / (B)
令和7年度	43	49	20 26	46.5% 53.1%
令和6年度	42	55	22 23	52.4% 41.8%
令和5年度	50	63	38 41	76.0% 65.1%

受胎実頭数と延頭数の差は流産頭数

(3) 放牧期間中の人工授精及び受精卵移植成績

ア 人工授精成績

項 目 対象牛	実頭数 (A)	延頭数 (B)	受胎実頭数 受胎延頭数 (C) (D)	受胎に要した 授精延回数 (E)	実頭数受胎率 延頭数受胎率 (C)／(A) (D)／(B)	受胎に要した 平均授精回数 (E)／(C)
令和7年度	35	64	30 31	54	85.7% 48.4%	1.8
令和6年度	37	55	26 26	41	70.3% 47.3%	1.6
令和5年度	32	48	29 29	43	90.6% 60.4%	1.5

受胎実頭数と延頭数の差は流産頭数

イ 受精卵移植成績(凍結胚)

項 目 対象牛	実頭数 (A)	延頭数 (B)	受胎実頭数 受胎延頭数 (C) (D)	実頭数受胎率 延頭数受胎率 (C)／(A) (D)／(B)
令和7年度	0	0	0 0	－ －
令和6年度	0	0	0 0	－ －
令和5年度	0	0	0 0	－ －

平成30年度以降は放牧地における移植を実施していない。

受胎実頭数と延頭数の差は流産頭数

5 家畜衛生関係成績

(1) 月別発生件数

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

病類別	疾病名	件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
皮膚病	乳頭腫	181	19	16	11	5	22	26	14	7	10	3	12	36
	体表パピローマ	117	25	6	4	2	8	12		16	4	1	28	11
	皮膚真菌症	209	2	27	9	15	15	11	9	9	14	51	45	2
呼吸器病	気管支炎	1							1					
眼病	伝染性角結膜炎	1							1					
運動器病	肢間腐爛	11				1		10						
外傷・事故	韃抜け	1									1			
消化器病	下痢症	7						1	3		1		1	1
生殖器病	黄体形成不良	6								5	1			
	子宮粘液症	1												1
	卵巢静止		1											4
	卵巢嚢腫												1	
	卵巢発育不全		4	2	1				4	6	10	4	2	
	膣弁遺残				1									
その他	膿瘍	10	2	3		1		1		1		2		
合計		545	53	54	26	24	45	61	32	44	41	61	89	55

6 草地利用管理成績

(1) 牧草生産量

草地名	刈取 回次	刈取利用面積 (ha)	ha当たり 生草換算収量 (t)	生草換算 生産量 (t)	仕向け別内訳 (t)		
					乾 草 (製品)	ヘイレージ (製品)	ロールベール ラップサイレージ (製品)
妙法Ⅰ	1	26.1	8.2	214.8	—	—	76.3
	2	26.1	6.0	156.4	—	—	69.5
	3						
	計	52.2	7.1	371.2	—	—	145.8
中 原	1	28.0	7.8	218.5	—	—	65.6
	2	28.0	10.5	294.8	—	—	131.0
	3	9.5	1.7	15.8	—	—	7.0
	計	65.5	8.1	529.1	—	—	203.6
結東原Ⅰ	1	18.2	4.9	89.1	—	—	31.5
	2	4.1	1.4	5.6	—	—	2.5
	計	22.3	4.2	94.7	—	—	34.0
結東原Ⅱ	1	6.9	11.4	78.8	—	—	35.0
	2	6.9	5.2	36.0	—	—	16.0
	計	13.8	8.3	114.8	—	—	51.0
高野山Ⅱ	1	7.5	7.2	53.9	—	—	15.4
	計	7.5	7.2	53.9	—	—	15.4
合 計		161.3	7.2	1,163.7	—	—	449.8

令和6年度	155.6	10.7	1,658.0	—	—	539.1
令和5年度	117.4	8.9	1,044.5	—	—	402.1
令和4年度	119.3	11.0	1,313.5	—	—	505.7

(2) 年度別牧草生産量の推移

区分 年度	生草換算生産量			出来高製品量						備 考 (ヘイレージ水分)
	年間生産量		合 計 生産量	乾 草			ヘイレージ			
	採草地	放牧地		採草地	放牧地	合 計	採草地	放牧地	合 計	
	t	t	t	t	t	t	t	t	t	%
平成 13	1,173	305	1,478	29	31	61	358 5	77 —	435 5	(ラップサイレージ)
14	1,348	48	1,396	48	—	48	388 12	16 —	404 12	40.6 (ラップサイレージ)
15	1,293	138	1,431	18	—	18	361 66	59 —	420 66	44.0 (ラップサイレージ)
16	1,325	197	1,522	56	—	56	324 34	63	387 34	37.3 (ラップサイレージ)
17	1,278	120	1,398	64	8	72	313	32	345	36.0
18	1,032	12	1,044	51	4	55	276	—	276	35.0
19	1,454	—	1,454	75	—	75	348	—	348	35.0
20	1,763	—	1,763	123	—	123	361	—	361	30.0
21	1,394	—	1,394	26	—	26	351	—	351	27.0
22	1,282	—	1,282	26	—	26	371 8	—	371 8	38.0 (ラップサイレージ)
23	1,693	—	1,693	105	—	105	426	—	426	41.6
							ラップサイレージ			
24	61	—	61	—	—	—	16	—	16	25.0
25	1,588	147	1,736	—	—	—	462	43	505	38.7
26	906	—	906	—	—	—	302	—	302	28.7
27	1,741	74	1,816	—	—	—	580	25	605	37.5
28	1,513	184	1,697	—	—	—	505	61	566	38.4
29	1,259	84	1,343	—	—	—	420	28	448	38.1
30	1,370	—	1,370	—	—	—	457	—	457	37.8
令和 元	1,617	—	1,617	8	—	8	458	—	458	29.6
2	1,373	—	1,373	—	—	—	469	—	469	40.5
3	1,314	—	1,314	—	—	—	506	—	506	48.1
4	1,227	—	1,227	—	—	—	473	—	473	48.1
5	1,045	—	1,045	—	—	—	402	—	402	48.0
6	1,620	38	1,658	—	—	—	530	9	539	38.5
7	954	210	1,164	—	—	—	365	85	450	48.3

注) 平成24年度以降はラップサイレージのみ。採草地に兼用地含む。

(3) 飼料分析結果

【成分】

分析：十勝農業協同組合連合会 農産化学研究所

番号	牧区	刈取り 回次	区分	水分 (%)	乾物中%				
					CP	ADF	NDF	NFC	TDN
1	妙法Ⅰ - 3	1	サイレージ	53.0	5.9	48.9	79.8	6.5	34.1
2	中原 - 2	1	サイレージ	45.3	12.3	42.1	68.0	12.7	49.3
3	中原 - 6	2	サイレージ	52.1	14.5	39.6	65.9	14.9	47.4

【発酵品質】

番号	牧区	刈取り 回次	区分	pH	乾物中%				Vスコア
					酪酸	乳酸	酢酸	プロピオン酸	
1	中原-1	1	サイレージ	5.1	0.04	0.66	0.35	0.00	98
2	高野山Ⅱ - 1	1	サイレージ	5.2	0.74	1.59	1.00	0.06	64
3	高野山Ⅱ - 1	2	サイレージ	4.6	0.30	2.24	0.53	0.01	87

【考 察】

- ・収穫は3サンプルとも刈遅れであり、水分は50%前後と、サイレージとしては低い値であった。
- ・成分は3サンプルともCP及びTDNの値が低かった。これは収穫時期が遅れたためと考えられる。
- ・発酵品質では、pHが3サンプルとも5前後であり、発酵が不十分と見られた。水分値が低く発酵が進まなかったためと考えられる。

(4) 施肥実績

草 地 名		実施肥面積 (牧区面積)	施 肥 量				ha当たりN量
			現物総量	N	P	K	
採草地	中 原	9.5	2,000	400	200	400	42
	高野山Ⅱ	0.0	0	0	0	0	0
	小 計	9.5	2,000	400	200	400	42
兼用地	中 原	18.5	2,500	500	250	500	27
	妙法Ⅰ	30.8	4,000	800	400	800	26
	小 計	49.3	6,500	1,300	650	1,300	26
放牧地	結束原Ⅰ	0.0	0	0	0	0	0
	結束原Ⅱ	0.0	0	0	0	0	0
	結束原Ⅲ	0.0	0	0	0	0	0
	高野山Ⅰ	0.0	0	0	0	0	0
	妙法Ⅰ	0.0	0	0	0	0	0
	妙法Ⅱ	0.0	0	0	0	0	0
	小 計	0.0	0	0	0	0	0
合 計		58.8	8,500	1,700	850	1,700	29

使用肥料

採草地、兼用地 1 回目＝草地配合

(N : 20%, P : 10%, K : 20%)

2 回目＝草地配合または尿素

(N : 20%, P : 10%, K : 20%、N : 46%)

注：上記の他、兼用地及び放牧地に堆肥を施用した。

(5) 草地の年度別更新実績

(面積単位:ha)

区分 年度	自力更新	公共育成牧 場整備事業 等	合 計	更新地の内訳		備考
				採草地	放牧地	
平成10	7.1	—	7.1	—	7.1	結東原Ⅰ－7、高野山Ⅰ－2、妙法Ⅱ－6
11	7.1	—	7.1	—	7.1	結東原Ⅰ－2、結東原Ⅱ－5、高野山Ⅰ－3
12	6.9	—	6.9	—	6.9	結東原Ⅰ－1、高野山Ⅰ－5
13	6.9	—	6.9	—	6.9	結東原Ⅲ－4、妙法Ⅱ－2
14	—	—	—	—	—	
15	3.6	—	3.6	3.6	—	妙法Ⅰ－5
16	4.6	—	4.6	1.5	3.1	妙法Ⅰ－5、高野山Ⅰ－6
17	3.7	—	3.7	—	3.7	結東原Ⅰ－1
18	5.0	—	5.0	—	5.0	妙法Ⅱ－4、5
19	3.2	—	3.2	—	3.2	高野山Ⅰ－5
20	3.4	—	3.4	—	3.4	高野山Ⅰ－3
21	—	—	—	—	—	
22	6.1	—	6.1	—	6.1	結東原Ⅰ－5、7
23	8.7	—	8.7	—	8.7	結東原Ⅰ－3、4
24	6.1	—	6.1	—	6.1	結東原Ⅰ－1、2
25	5.8	—	5.8	—	5.8	結東原Ⅱ－4
26	8.1	—	8.1	4.7	3.4	妙法Ⅰ－4、結東原Ⅰ－6
27	3.3	—	3.3	—	3.3	高野山Ⅰ－7
28	5.8	—	5.8	—	5.8	結東原Ⅱ－1
29	1.0	—	1.0	—	1.0	結東原Ⅱ－4
30	—	—	—	—	—	
令和 元	6.1	—	6.1	—	6.1	結東原Ⅰ－1、2
2	—	—	—	—	—	
3	4.8	—	4.8	—	4.8	高野山Ⅰ－4
4	3.2	—	3.2	—	3.2	高野山Ⅰ－5
5	—	—	—	—	—	
6	—	—	—	—	—	
7	7.5	—	7.5	—	7.5	高野山Ⅱ－1

7 気 象

(1) 気象表

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度	5月～ 10月	1月～ 2月
降水量 (mm)	60.5	108.5	136.0	71.5	207.5	267.0	223.0	204.0					1,278	1,013.5	-
※降雪量 (cm)									285	493	142	50	970		635
平均気温 (℃)	8.0	14.8	21.0	26.1	25.1	21.7	14.4	7.3	2.4	-1.5	0.8	3.7	12.0	20.5	-0.4
最高気温 (℃)	13.4	19.9	25.3	31.2	29.8	26.3	18.6	11.9	6.2	1.5	5.3	7.8	16.4	25.2	3.4
最低気温 (℃)	3.2	10.0	16.8	21.8	21.4	18.2	10.8	3.4	-1.2	-4.9	-3.3	-0.4	8.0	16.5	-4.1

※降水量、気温は欠測のため、津南町のアメダスデータを参考値として表示

(2) ok

年 次		H27～28	H28～29	H29～30	H30～31	R1～2	R2～3	R3～4	R4～5	R5～6	R6～7	R7～8
初 雪 日		27.11.25	28.11.9	29.11.16	30.11.23	1.11.20	2.11.4	3.11.27	4.12.2	5.11.13	6.11.18	7.11.18
根 雪 日		27.12.26	28.12.7	29.11.16	30.12.8	1.12.24	2.12.14	3.12.13	4.12.14	5.12.18	6.12.7	7.12.4
最大 積雪深	年月日	28.2.11	29.2.13	30.2.19	31.1.29	2.2.11	3.2.9	4.2.23	5.2.16	6.3.22	7.2.21	8.1.30
	積雪深	130cm	251cm	260cm	267cm	173cm	268cm	420cm	232cm	159cm	390cm	257cm
日最大 降雪量	年月日	28.3.1	29.1.15	30.1.26	31.1.21	2.2.9	2.12.17	4.2.6	5.1.29	5.12.23	6.12.27	8.1.25
	降雪量	45cm	70cm	48cm	53cm	69cm	70cm	119cm	60cm	73cm	※80cm	95cm
消 雪 日		28.4.13	29.4.27	30.4.15	31.4.25	2.4.17	3.4.19	4.4.29	5.4.10	6.4.15	7.5.3	8.4.12
根 雪 日 数		110日	141日	151日	139日	115日	126日	137日	117日	119日	147日	129日
降 雪 日 数		61日	76日	73日	71日	59日	54日	71日	61日	62日	※71日	52日
総 降 雪 量		6.33m	11.03m	9.68m	12.12m	8.09m	11.28m	14.32m	10.52m	9.45m	※12.40m	9.71m

※R6～7の日最大降雪量及び降雪日数、総降雪量は欠測のため、津南町のアメダスデータを参考値として表示。

(3) 冬の気象記録(昭和51年～令和5年春、48年間)

最も早い初霜日	昭和53年10月14日		最 遅 消 雪 日	昭和59年5月20日	
最も早い初雪日	昭和57年10月18日		最 多 降 雪 日 数	平成7～8年	102日
最 高 積 雪 量	昭和59年3月13日	458cm	最高累積降雪量	昭和58～59年	22. 02m
日 最 高 積 雪 量	昭和55年2月7日	135cm	最 低 気 温	昭和53年2月17日	－13. 5℃
最 長 根 雪 期 間	平成14年～15年 及び 平成17年～18年 182日				

8 牧場研修の受入等

(1) 視察・研修(体験含む)

8 月 6 日	長野県在住者	1 名
8 月 13 日	東京都在住者	1 名
8 月 26 日	新潟県農業大学校畜産経営科	4 名
9 月 10 日	十日町市在住者	1 名

(2) 報道

6 月 5 日	本放牧の開始について 毎日新聞社、十日町タイムス
6 月 6 日	本放牧の開始について 日本農業新聞、新潟日報社、妻有新聞